

平成30年度ふぐ処理師試験問題（公衆衛生学）

※受験番号を記入してください。

※解答は解答欄に記入してください。

受験番号	
得点	

問1

次の(ア)～(エ)は公衆衛生について述べたものです。正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (ア) 厚生労働省は公衆衛生に関する行政を担当している国の主要な機関である。
- (イ) 地域保健法の第6条に定められた保健所の業務のひとつに住宅、水道、下水道、廃棄物の処理、清掃その他の環境の衛生に関する事項がある。
- (ウ) 地域保健法の第6条の中で保健所の業務に地域の防犯および青少年の保護育成に関する事項がある。
- (エ) 地方公共団体においては各都道府県及び指定都市などにそれぞれ衛生主管の部局があり、この組織の中で保健所が直接飲食店、旅館、理美容所などの指導にあたっている。

問1 解答欄

ア	○
イ	○
ウ	×
エ	○

問2

次の文章は感染症の発生について述べたものです。()の中に入る適当な語句を下記の語群から選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

感染症の発生には3つの条件があり、どれが欠けても(ア)は起こりえない。感染症の(イ)の原理はこの3つの条件(以下A～C)を断ちやすいものから順次断ち切っていくことである。

A:ウイルス、細菌、クラミジア、リケッチア、スピロヘータ、原虫など感染源となる(ウ)がいること。

B:(ウ)と感受性をもつ(エ)とが接触する機会があること。

C:感染症にかかりやすい体質(感受性)をもつ(エ)がいること。(エ)に(オ)があれば感染は起こらない。

問2 解答欄

ア	①
イ	②
ウ	④
エ	⑤
オ	⑧

- ①流行 ②予防 ③害虫 ④病原体 ⑤人間 ⑥多様性 ⑦殺虫剤
⑧抵抗性

※解答は解答欄に記入してください。

得点	
----	--

問3

次の(ア)～(オ)は、人体に影響を与える寄生虫症についての記述です。それぞれあてはまる寄生虫の名称を下記の語群の中から選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- (ア) 大きさ10マイクロメートル程度の胞子を形成し、ヒラメの筋肉内に寄生する。食後、数時間程度で一過性の嘔吐や下痢を呈することがある。
- (イ) 主にサケ、マス類の背ビレ、アブラビレのすぐ下の筋肉内に被囊虫が寄生する。人を含む哺乳類が終宿主で体長6～10メートルにもなる。人に寄生して成虫になると、腹痛、便秘、下痢など消化器系に軽度の症状を起こす。
- (ウ) キツネや犬が感染した野ネズミを捕食すると小腸で成虫となり、虫卵を排出する。排出された虫卵に汚染された水、野菜、果物、ほこりなどから人へ感染し肝臓障害を起こす。潜伏期間は非常に長く、症状が現れるまで5年以上かかる。
- (エ) サバ、ニシン、イワシ、スルメイカ、サケなどの内臓表面や筋肉に寄生する。幼虫は人の体内では成虫になれないので普通は自然排出されるが、人の胃や腸壁に侵入し、2～10時間後に激しい腹痛、吐き気、嘔吐などの症状を呈することがある。
- (オ) ホタルイカの胃と腸に寄生し、内臓ごと生食することで1日から2、3週間で、多くは皮膚爬行症もしくは腸閉塞症を起こす。

問3 解答欄

ア	⑤
イ	⑥
ウ	②
エ	③
オ	④

- | |
|---|
| ①マンソン裂頭条虫 ②多包虫(エキノコックス) ③アニサキス ④旋尾線虫
⑤クダア ⑥日本海裂頭条虫 ⑦クリプトスポリジウム |
|---|

問4

次の文章は消毒の方法について述べたものです。()にあてはまる語句を以下の語群から選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

消毒の方法には(ア)方法と(イ)方法があり、食品に対する場合と器具、容器に対する場合で異なる。

食品に対する(ア)方法には、加熱処理、(ウ)照射、紫外線照射の3つの方法があり、加熱処理は食品の中心温度100℃5分間でほとんどの細菌を死滅させられること、(ウ)照射はわが国ではパレイシヨの発芽防止にしか利用を認められていないこと、紫外線は(エ)の殺菌に好適であることといった特徴がある。

一方、器具、容器に対する(ア)方法には加熱および紫外線照射の2つの方法があり、加熱消毒後は完全に(オ)させ、空中落下細菌などが付着して再度汚染することがないようにすることが重要であること、紫外線照射は器具、容器にほとんど変化を与えないなど利点はあるが、紫外線のあたる(カ)の殺菌に限られるといった注意点がある。

問4 解答欄

ア	③
イ	②
ウ	⑤
エ	⑧
オ	⑩
カ	⑪

- | |
|---|
| ①生物的 ②化学的 ③物理的 ④遠赤外線 ⑤放射線 ⑥赤外線
⑦魚肉類 ⑧飲料原料水 ⑨密封 ⑩乾燥 ⑪表面 ⑫内部 |
|---|